松進タイムズ

発行「松進」
令和6年7月
松進HP

「松進」はこんな塾です

上伊那郡下で生まれた塾で一番歴史がある塾「松進(まつしん)」。
1978年創立以来、**今日まで46年間**、地域の学生たちとともに歩んできました。
「松進」の特徴を少しお話しします。

■全員が専任講師の理由

「教えていればいいだけだから、塾の仕事は楽でいいね」
「早く出勤してもやることがないんじゃないの?」
確かにそういう塾もあるかもしれませんが、これでは講師はいつまでたっても成長しないし、子どもたちに十分な指導を行うことはできません。

明るい専任講師たち

松進には、授業の開始時間ギリギリに来て、授業が終わればそそくさと帰っていくような講師は一人もいませんし、そのような方針の塾でもありません。
松進の指導者のある日の動きをざっとお話しします。

①出勤して、最初に掃除。
②講師全員参加のミーティングで企画などについての話し合い。
③テスト素点入力。各生徒の偏差値の推移と答案内容を見て、担当者同士で子供の進路や弱点、今後の指導法について意見交換。
④保護者へ子どもの近況などをラインで連絡。
⑤その日の授業のために前々から準備をしてきたことの確認。
⑥授業。気になる生徒がいれば声をかける。
⑦授業終了後、先生同士で生徒の様子を報告し、今後の指導方針を改めて確認。

また、「どうやれば生徒が説明を理解してくれるか」「学力を伸ばすために必要なことは何か」「レベル差がある子どもをどう指導したらよいか」といった指導の研究をし続けることも、塾人にとっての大事な仕事です。
こういった仕事は子どもを伸ばすために不可欠ですし、やって当たり前のことばかりですが、片手間にできることではありません。
それを実行する気持ちと時間が必要になります。
松進が専任にこだわる理由が、おわかりになったでしょうか。

松進の講師力に関したエピソードを紹介します。
松進に数年勤めた後、大手学習塾に再就職したある先生がこんな話をしてくれました。

「今度就職した大手塾の主任に『最初からこんなに動ける先生は初めて見た。すごいね』と誉められまして……。松進で教えられたことを普通にやっただけだったんですけどね。やっぱり松進って他の塾と違うって感じました。僕を指導してくれた先生方に感謝しています」

この言葉からもわかると思いますが、松進は時間をかけて講師を育てています。
彼は今、大手塾を退職して自分で学習塾を運営しています。

■保護者と密に

学力を伸ばすためには**家庭学習の充実**が不可欠。
家庭学習の具体的なやり方を保護者にも理解していただき、成績アップを図っています。

◇担当の先生が保護者とLINEやメール、電話で連絡を取り合い、意思疎通を図っています。
◇親子面接、子ども面接を定期・随時実施。学習、進路についてだけでなく、家庭や学校での悩み等にもアドバイスをしています。
◇「松進タイムズ」(本誌)で塾での子どもたちの様子や企画、受験についての情報を毎月発信しています。

■魅力ある企画があふれる塾

生徒のやる気と興味を引き出す企画や受験を知るセミナーを実施しています。
理科実験大会／小論文講座／高校入試・大学入試制度説明会／入試直前特訓／合格祝賀会／クリスマス会、英単語魚釣り大会 他。

松進は、学校補習、中高大学受験まで専任講師がサポートします。

夏期講習 受講生受付中

松進の夏期講習が始まります。成績を上げるために何が必要か知り尽くした先生たちが指導します。松進で充実した夏に!

小学部 1時限2100円〜
▽教室個別指導講座(小4〜小6)
学校内容の弱点克服から中学入試対策まで。
▽無料 夏休み宿題帳指導会(小1〜小6)
宿題帳のわからないところをわかりやすく教えます。

★8/24までの新規入塾生
入塾金無料

「ワクワク理科実験」も実施。

中学部 3時限9000円〜
「丁寧に、わかりやすく」は当たり前。苦手を克服し、伸ばす指導を行います。
▽高校受験対策コース(中3)
実際に出題された問題を基に、休み明けの実力テストや入試問題への対策をします。
▽基礎力養成コース(中3)
問題を解くために必須の基礎力を身につけます。

▽高校入試準備コース(中1・中2)
入試対策に「まだ早い」はありません。入試問題等を使って入試への準備を進めていきます。
▽学校授業対策コース(中1・中2)
夏休みは復習のチャンス。休み明けの学校授業にスムーズに入れるよう対策をしていきます。

高校部 3時限9000円〜
教室でじっくり受ける個別対応の授業です。
※英語、国語、数ⅠA、数ⅡBC、数Ⅲ、化学基礎、化学、物理基礎、物理、生物基礎、生物から選択。
▽受験対策コース(高1〜高3)
共通テスト対策をはじめとして、夏にやるべき内容を直接指導。合格への近道を示します。
▽弱点克服コース(高1〜高3)
「できないことがいっぱい…どうすればいいの?」
弱点克服にも方法があります。**その一つが勉強のやり方です。**この機会に学習方法を見直し、「やれるかも」を増やして成績アップへ。

松進のしぇんしぇ〜

「休みに東京の方から孫が遊びに来たんですよ…あれ? だれも聞いてない? すんませ〜ん、ちょっと聞いて下さ〜い」とツバを飛ばしながら話し始めた三松先生。
「ちょっとだけですよ」と三沢先生。
「都会っ子の孫を鍛えるために山に連れて行きましてね」
「ダンベル持って山に行ったんです?」
「タケノコ掘りに」
「タ・ケ・ノ・コ・ほり……」
「まずは腹ごしらえ。ソースカツ丼で有名な店に行ったんですよ。そしたら驚きましたね〜!」
「カツが無い**ソースだけ丼**だったりして」と藤河先生。
「アハハ、そんなことあるわけないじゃないですか。開店前に行ったのに、なんと2時間待ちでね」
横で聞いていた石川先生が
「タケノコ掘りはどうでした?」
「あの〜、2時間待ちの話がまだ終わっていないけど……まあいいや。二人で掘りまして。そしたら」
「ツチノコ(※)が出たんです?」
とユウシ先生。※未確認動物
「はて? ツチノコじゃなくてタケノコ。それ、ギャグ?」
そこでね、タケノコを孫の鼻に」
「鼻の穴に入れたんだ。さすが三松先生、鍛え方が違うな〜!」
と感激で声がうわずる大槻先生。
「入れるわけないじゃないですか。においを嗅いでみてごらんって言ったんです! 自然の恵みを体で感じてもらおうと思ってね。コホン!」
「そしてタケノコ持ってかけっこですか?」とコバヤン先生。
「まさかギャグ? カビが生えたようなギャグ…だから自然をね…涙」
孫と楽しい時間を過ごしたんですね。三松先生、ご苦労様でした。